

# 平成18年社会生活基本調査生活行動に関する結果（鳥取県）

《平成19年7月9日総務省統計局公表資料による》

**社会生活基本調査とは**

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分や自由時間等における主な活動について調査し、国民生活の実態を明らかにすることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、今回の調査は7回目に当たる。

調査対象は、全国の指定調査区の中から選定した約8万世帯（鳥取県では約1,400世帯）に居住する、10歳以上の世帯員約20万人を対象。

今回公表する結果は、自由時間等における主な活動に関する結果であり、集計対象は約18万人（鳥取県では、約4,000人）が対象。

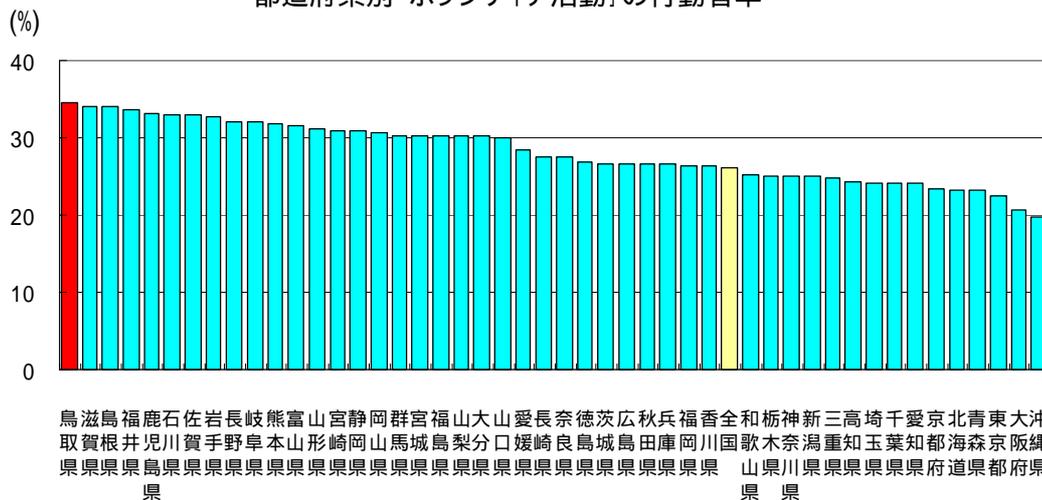
ここでは、主な集計結果について要約していますが、詳細データについては総務省統計局ホームページ(<http://www.stat.go.jp>)をご覧ください。

今後の結果公表予定  
生活時間の配分に関する結果（平成19年9月公表予定）

## 「ボランティア活動」の行動者率が34.5%で全国第1位

- 過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は184千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は34.5%で、全国平均（26.2%）と比べ8.3ポイント高く、全国1位となっている。

都道府県別「ボランティア活動」の行動者率



**用語の解説**

行動者数...過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数

行動者率...行動者数の10歳以上人口に占める割合（%）

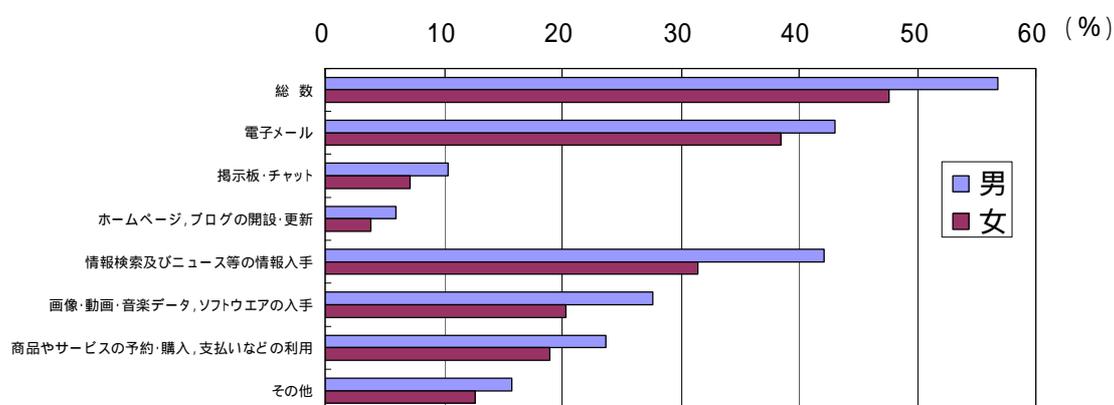
## 生活行動に関する結果の要約（鳥取県）

### 1 インターネットの利用

男性の56.8%、女性の47.7%がインターネットを利用

- (1) 過去1年間に「インターネット」を利用した人は277千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は52.0%となっている。
- (2) 「インターネットの利用」の行動者率を全国平均（59.4%）と比較すると、7.4ポイント低くなっており、全国で31位となっている。
- (3) 男女別にみると、行動者率はいずれも男性の方が高くなっており、男性、女性ともに「電子メール」が最も高く、次いで「情報検索及びニュース等の情報入手」、「画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手」の順となっている。

図1 男女「インターネットの利用」の種類別行動者率(鳥取県)



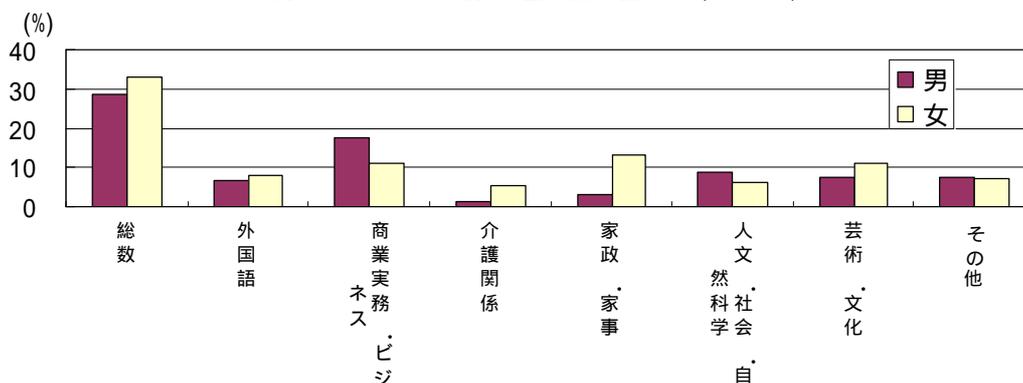
注) インターネットの利用は、「仕事」や「学業」での利用は除く。

### 2 学習・研究

行動者率は男性は「商業実務・ビジネス」、女性は「家政・家事」が最も高い

- (1) 過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は165千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は31.0%となっている。
- (2) 「学習・研究」の行動者率を全国平均（35.2%）と比較すると、4.2ポイント低くなっており、全国で32位となっている。
- (3) 男女別にみると、行動者率は男性は「商業実務・ビジネス」の17.4%と最も高く、女性は「家政・家事」の13.2%が最も高くなっている。

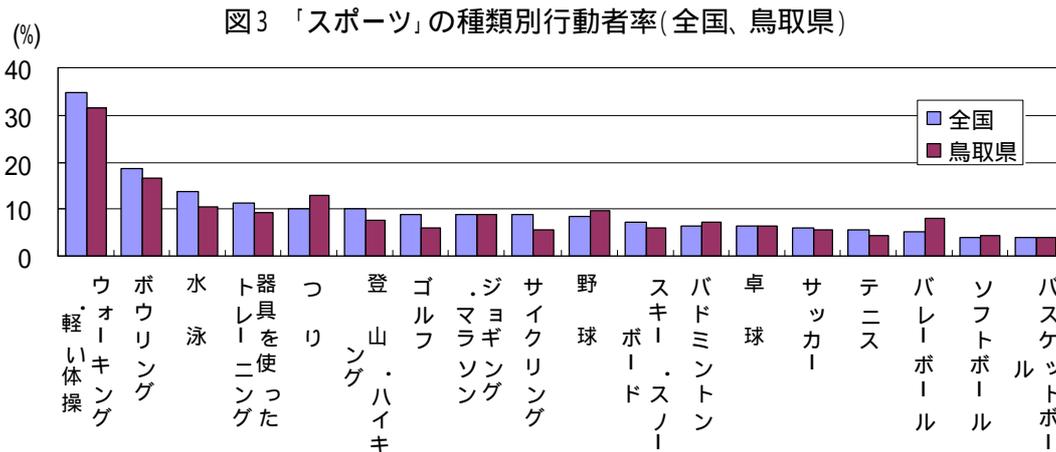
図2 男女、「学習・研究」の種類別行動者率(鳥取県)



### 3 スポーツ

行動者率は「つり」、「野球」、「バドミントン」、「バレーボール」で全国平均を上回る

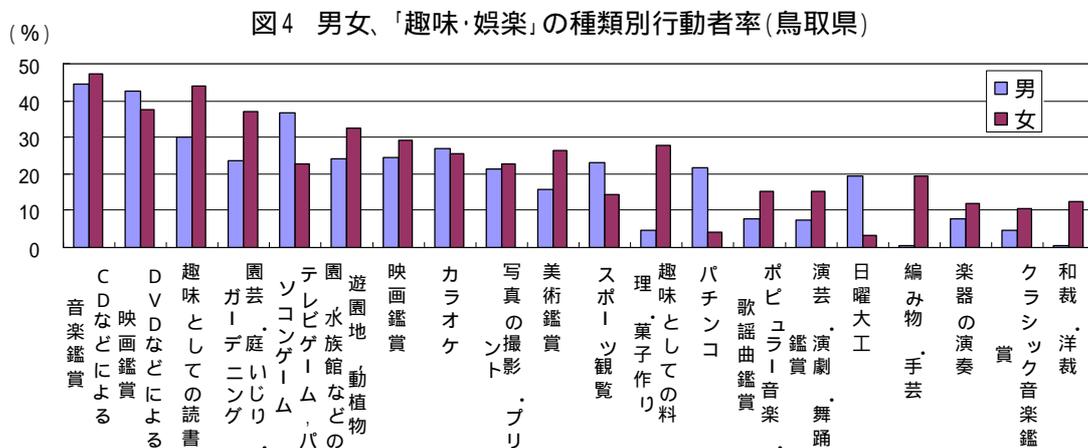
- (1) 過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は339千人で、10歳以上人口に占める割合(行動者率)は63.6%となっている。
- (2) 「スポーツ」の行動者率を全国平均(65.3%)と比較すると、1.7ポイント低くなっており、全国で26位となっている。
- (3) 種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が31.6%と最も高くなっている。また、「つり」、「野球」、「バドミントン」、「バレーボール」で全国平均を上回っている。



### 4 趣味・娯楽

趣味・娯楽は男女ともに行動者率が最も高いのは「CDなどの音楽鑑賞」

- (1) 過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は441千人で、10歳以上人口に占める割合(行動者率)は82.8%となっている。
- (2) 「趣味・娯楽」の行動者率を全国平均(84.9%)と比較すると、2.1ポイント低くなっており、全国で26位となっている。
- (3) 男女別に行動者率をみると、男女とも「CDなどによる音楽鑑賞」が男44.5%、女47.2%と最も高く、次いで男性は「DVDなどによる映画鑑賞」、「テレビゲーム・パソコンゲーム」となっており、女性は「趣味としての読書」、「DVDなどによる映画鑑賞」の順となっている。



## 5 ボランティア活動

ボランティア活動の行動者率は34.5%で全国第1位

- (1) 過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は184千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は34.5%となっている。
- (2) 「ボランティア活動」の行動者率を全国平均（26.2%）と比較すると、8.3ポイント高くなっており、全国で1位となっている。
- (3) 種類別に全国と行動者率を比較すると、「国際協力に関係した活動」と「災害に関係した活動」を除くすべての種類で全国平均を上回っている。
- (4) 平成13年の前回調査の行動者率（35.6%、全国9位）と比較すると、1.1ポイント低下しており、「障害者を対象とした活動」を除くすべての種類で行動者率は低下している。

図5 - 1 「ボランティア活動」の種類別行動者率(鳥取県、全国)

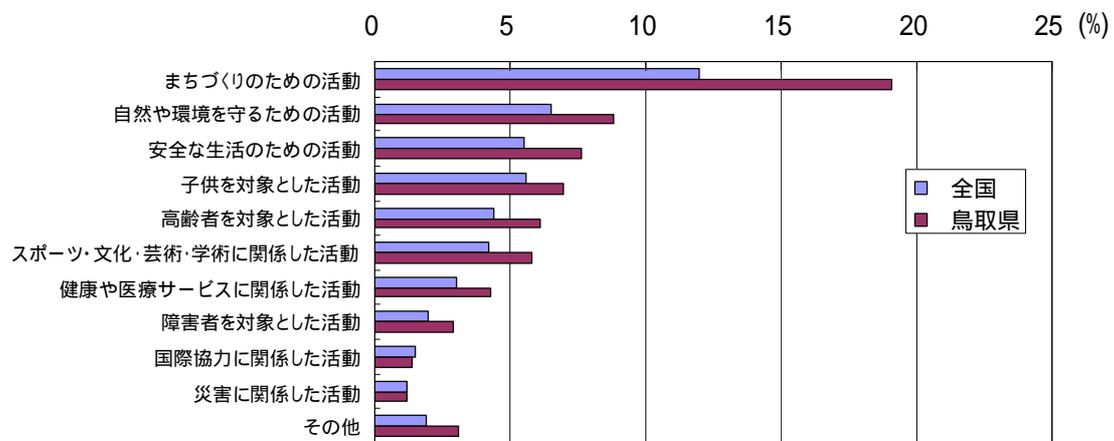
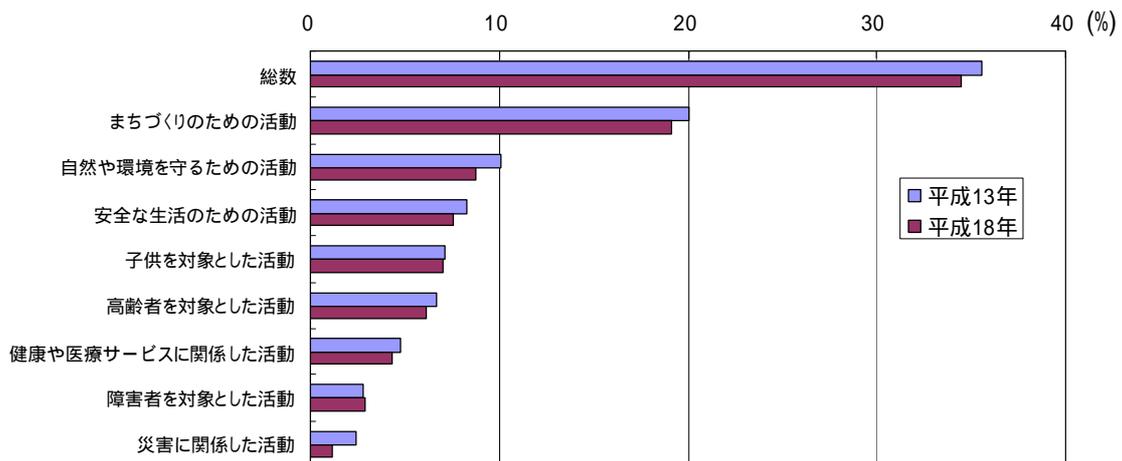


図5 - 2 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成13年、18年)鳥取県



## 6 旅行・行楽

旅行・行楽は男女ともに行動者率が最も高いのは「行楽(日帰り)」

- (1) 過去1年間に何らかの「旅行・行楽」に行った人は385千人で、10歳以上人口に占める割合(行動者率)は72.3%となっている。
- (2) 「旅行・行楽」の行動者率を全国平均(76.2%)と比較すると、3.9ポイント低くなっており、全国で28位となっている。
- (3) 男女別に行動者率をみると、男女ともに「行楽(日帰り)」が最も高くなっている。また、国内及び海外の「業務出張・研修・その他」、「観光旅行(海外)」を除き、すべての種類で女性の方が高くなっている。

図6 男女、「旅行・行楽」の種類別行動者率(鳥取県)

